

# 十勝川中流部市民協働会議\_活動記録 (29)

## 第 14 回 十勝川中流部川づくり報告会

十勝川中流部川づくり報告会は、毎年 2 回行っています。今回は平成最後の報告会となりました。

主な報告内容は、以下の通りです。

- 日 時：平成 31 年 3 月 9 日（土） 10：00～12：00
- 参加者：50 名  
（内訳）帯広農業高等学校 十勝川中流部川づくり班 2 名（生徒 1 名、教諭 1 名）  
帯広工業高等学校 環境土木科 15 名（1-2 年生 10 名 3 年生 2 名 教諭 3 名）  
河川管理者 帯広河川事務所及び治水課 8 名  
十勝川中流部市民協働会議メンバー等 18 名  
その他、一般参加者など 7 名
- 場 所：とかちプラザ 4 階 講習室 402
- 報告内容：1. 開会挨拶  
2. 「第 11 回 いい川・いい川づくりワークショップin北海道十勝」の報告  
3. 平成 30 年度 活動経過報告  
4. 帯広農業高校による夏季・秋季相生湿地魚類等調査結果報告  
5. 帯広工業高校による活動報告（各学年、流木処理研究班より）  
6. 帯広河川事務所より「これまでの川づくりと今後の川づくりについて」内容説明  
7. 工事経過及び今後の川づくりについて  
8. 十勝川アシリチェブミの開催報告（アイヌ民族儀式と伝統舞踊の動画鑑賞）  
9. 今後の活動報告  
10. 講評・閉会挨拶



会場の様子

## 十勝川中流部川づくり報告会の発表概要

報告会は、和田事務局員の司会進行のもと、代表の柳川教授（帯広畜産大学 副学長）の開会挨拶から始まり、平成 30 年度の活動や来年度の計画などが発表され、最後に顧問の加賀屋教授（北海道大学名誉教授）に講評を頂いて終わりました。



司会の和田事務局員



開会の挨拶をする柳川代表

当団体の活動報告は橋本事務局員より、今年度参加した「第 11 回いい川・いい川づくりワークショップin北海道十勝」の内容や開催の状況について説明がありました。

また、会場内にはいい川づくりワークショップで受賞された各団体の賞状などが展示されました。



今年度の活動内容を報告する橋本事務局員

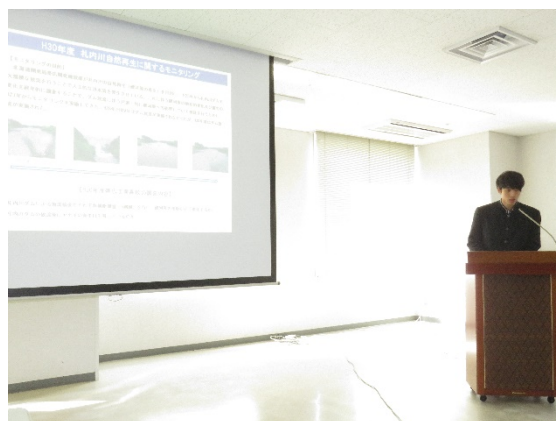


いい川づくりワークショップで受賞された各団体の賞状

高校生による発表は、帯広農業高校の魚類調査について、帯広工業高校の1-2年生による活動内容について、また、今年卒業した帯広工業高校3年生から札内川の流木腐朽調査について研究・考察の発表がありました。



帯広農業高校の生徒による発表の様子



帯広工業高校の生徒による発表の様子



流木腐朽調査について発表した帯工3年生（今年の卒業生）と発表の様子

その後、帯広河川事務所の飛驒技官から、主に今年度の工事状況と今後の整備計画について説明があり、「今後、十勝川中流部市民協働会議の中で、維持管理の在り方について議論を深めていきたい」との報告がありました。



帯広河川事務所から説明状況の様子

今年から一緒に活動を実施し 10 月 20 日（土）十勝エコロジーパークで開催した「十勝川アシリチェブノミ」について、北海道アイヌ協会理事の小川哲也氏から、開催実施にあたってのお礼と今後の活動計画等について報告がありました。

また、十勝川アシリチェブノミで行われた儀式や伝統舞踊の動画も鑑賞しました。



挨拶する北海道アイヌ協会理事の小川哲也氏

カムイに捧げる儀式の上映の様子

来年度の活動予定については、紅葉事務局員から概要説明があり、当事務局の活動メインとなる高校生との活動予定と、「十勝川いい川づくりワークショップ」、開催予定の「十勝川サロルンリムセ」への支援活動等について発表がありました。また、規約の改定として、活動の範囲を「十勝川中流部」から「十勝川流域」へ変更したいとの提案があり、参加者からの承認により規約の改定を行うことになりました。



来年度の活動予定や規約改定の提案する紅葉事務局員

質疑応答では、帯広農業高校の活動のうち、DNA 解析や、新たな考察方法である体重増減率などについて情報の入手方法などの質問があり、帯広農業高校生徒と教諭から「テレビや独自の発想で考えた」などの回答がありました。



質問する当会議副代表 石原由美子 氏



回答する帯広農業高校教諭 高山先生

講評は、個々の報告の内容に対しての評価や今後の進め方や考え方などについてお話があり、最後に十勝川の活動について高い評価をいただき、今後益々全国に向かって活動の PR を行い、十勝川中流部市民協働会議の発展を希望するとのお言葉がありました。



加賀屋先生による講評の様子